

国立大学法人宇都宮大学の中期計画新旧対照表

平成19年3月30日認可

| 現 行 | 変 更 案 | 変更理由 |
|---|---|---|
| <p>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標を達成するための措置</p> <p>教育研究における社会との連携等に関する具体的措置</p> <p>産学官連携プロジェクトを効果的に推進するため、地域共同研究センターをはじめとする関係部局の機能を拡充強化する。</p> <p>近隣の各種教育研究機関や企業等と連携した研究プロジェクトを推進するため、地域の研究ネットワークを構築する。</p> <p>学内共同利用施設の社会開放を拡大する。</p> <p>サテライト授業や教育訓練給付制度を活用して、社会人に対する大学院教育の機会を拡充する。</p> <p>公開講座等の内容を受講者のニーズに即して充実させるとともに、高齢者や身体障害者など受講者の事情に配慮した受講環境を整備する。</p> <p>栃木県高等教育連絡協議会の世話大学として、単位互換・共同研究・コンソーシアムの形成を推進する。</p> <p>地域の他大学と連携して免許や資格取得のための公開講座を拡充する。</p> <p>平成15年2月に新設された「高大教育連携協議会」を核にして、県内の高等学校との教育連携を強化する。</p> <p>「とちぎ大学連携サテライトオフィス」を拠点として、栃木県産業振興センターとの協力体制を強化し、産学官連携及び県内大学間の研究教育活動の連携を推進する。</p> | <p>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標を達成するための措置</p> <p>教育研究における社会との連携等に関する具体的措置</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>○ <u>光学技術を維持し、強化するため、光学技術者育成と光学研究を担う教育研究拠点として、民間企業と連携して本学にオプティクス教育研究センターを開設する。</u></p> | <p>オプティクス教育研究センターの開設に向けて検討を行っているため。</p> |

宇都宮大学 - 1

| 現 行 | 変 更 案 | 変更理由 |
|--|---|----------------------------|
| <p>その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 施設設備の整備等に関する目標を達成するための措置</p> <p>教育内容・方法の改善、学術研究の進展等にも必要とされるスペースの確保に努めるとともに教育研究の一層の高度化を図るために、施設設備の有効活用を図る一方で、教育研究にも配慮した施設設備の整備充実に努める。</p> <p>体系的に収集された学術標本を、実証的教育・研究に活用するとともに、地域社会への多面的学術情報として提供するために施設の整備充実に努める。</p> <p>卓越した研究組織としての様々なタイプにも柔軟に対応できる、フレキシブルなスペースと快適性や安全性に配慮したレベルの高い実験室等の確保に努める。</p> <p>国際的に開かれた教育・研究体制に対応し、また地域の国際交流の支援拠点として各種のプロジェクトに配慮した施設の整備に努める。</p> <p>知的創造活動の交流拠点として、施設の充実とその開放、及びバリアフリー環境整備の推進に努める。</p> <p>快適な学生生活を送るために、キャンパスにおける様々な活動を支援する各種施設（課外活動施設、保健関連施設、居住施設、屋外環境施設等）の施設設備の充実に努める。</p> <p>学生の視点に立った教育研究環境の適切な維持及び整備充実に努める。</p> <p>国・地方自治体との連携、寄附及びPFI(Private Finance Initiative)等による施設整備の推進に努める。</p> <p>屋外環境の維持・管理に関する保全計画を策定し、教職員・学生が連携してキャンパスの美観維持に努める。また、キャンパスの整備においては周辺地域の環境と共生を図る。</p> <p>全学的な教育研究スペースの整備状況及び利用状況に関する点検・評価の結果を踏まえ、スペース配分方法の見直しを行い、教育研究の流動化に対応した全学共同利用スペースの確保に努め、既存施設の有効活用を図る。</p> <p>適切な維持管理と予防的修繕を行うための調査及び修繕計画を策定し、既存施設の長期使用と活性化を図る。</p> | <p>その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 施設設備の整備等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>長期借入金による整備等、新たな整備手法による整備に努める。</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> | <p>長期借入金を活用した学生寮整備のため。</p> |

| 現 行 | 変 更 案 | 変更理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|-----|-----|-----|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|--|--|--|--|---|---|----|-----|-----|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| <p>昭和56年以前建設の建物のうち、必要とされる建物の耐震診断及びその結果に基づく耐震補強の実施計画を策定する。</p> <p>既存施設設備の利用実態や将来需要を踏まえ、環境に配慮した適切なエネルギー供給計画を策定し、省エネルギー及びランニングコストの縮減に努める。</p> <p>重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>・農学部附属演習林（船生演習林）の土地の一部（栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556 5,345㎡）を公共目的に資するため譲渡する。</p> <p>その他</p> <p>3 中期目標期間を超える債務負担（長期借入金） 計画の予定なし。</p> | <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>・農学部附属演習林（船生演習林）の土地の一部（栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556 5,345㎡）を公共目的に資するため譲渡する。</p> <p>・<u>教育学部附属特別支援学校の土地の一部（栃木県宇都宮市若草2丁目2588の15 19.39㎡）を公共目的に資するため譲渡する。</u></p> <p>その他</p> <p>3 中期目標期間を超える債務負担（長期借入金） <u>学生寮整備事業</u></p> <p style="text-align: right;">（単位：百万円）</p> <table border="1" data-bbox="1021 1062 1872 1294"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="6">年度</th> <th rowspan="2">中期目標 期間計</th> <th rowspan="2">次期以降 償還額</th> <th rowspan="2">総債務 償還額</th> </tr> <tr> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生寮(雷鳴寮) 整備事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>114</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還 金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 年度 | | | | | | 中期目標 期間計 | 次期以降 償還額 | 総債務 償還額 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | 学生寮(雷鳴寮) 整備事業 | | | | | 6 | 6 | 12 | 114 | 126 | 長期借入金償還 金 | | | | | | | | | | <p>県道22号(大沢・宇都宮線)の歩道拡幅に伴い、本学教育学部附属特別支援学校の土地の一部を栃木県に譲渡するため。</p> <p>長期借入金を活用した学生寮整備のため。</p> |
| 区分 | 年度 | | | | | | 中期目標 期間計 | 次期以降 償還額 | | | | 総債務 償還額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学生寮(雷鳴寮) 整備事業 | | | | | 6 | 6 | 12 | 114 | 126 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金償還 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 現 行 | | 変 更 案 | | 変更理由 |
|--------------|--|--------------|--|---|
| 別表 学生収容定員 | | 別表 学生収容定員 | | 宇都宮大学大学院 国際学研究所国際 学研究専攻博士後 期課程を設置する ため。 |
| 平成19年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | 平成19年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | |
| | 国際学研究科 60人 | | 国際学研究科 63人(うち博士前期課程 60人) (博士後期課程 3人) | |
| | 教育学研究科 140人 工学研究科 482人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 108人) 農学研究科 142人 | | 教育学研究科 140人 工学研究科 479人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 105人) 農学研究科 142人 | |
| 平成20年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | 平成20年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | |
| | 国際学研究科 60人 | | 国際学研究科 66人(うち博士前期課程 60人) (博士後期課程 6人) | |
| | 教育学研究科 140人 工学研究科 482人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 108人) 農学研究科 142人 | | 教育学研究科 140人 工学研究科 476人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 102人) 農学研究科 142人 | |
| 平成21年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | 平成21年度 | 国際学部 420人 教育学部 840人(うち教員養成課程 600人) 工学部 1,600人 農学部 900人 | |
| | 国際学研究科 60人 | | 国際学研究科 69人(うち博士前期課程 60人) (博士後期課程 9人) | |
| | 教育学研究科 140人 工学研究科 482人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 108人) 農学研究科 142人 | | 教育学研究科 140人 工学研究科 473人(うち博士前期課程 374人) (博士後期課程 99人) 農学研究科 142人 | |